

# 青い空に浮かぶ白い雲 10

## —「東大和市の学校教育(2)」—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) どの時代にもそれぞれ課題があり、それを解くことによって人類は進歩する。(ハイネ)

### 1 不登校の定義

不登校とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)」と、文部科学省の『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』では定義しています。具体的には「学校生活上の影響」「遊び・非行」「無気力」「不安など情緒の混乱」「意図的な拒否」「複合」などの例が示されています。

不登校児童生徒数とは、不登校を理由として4月1日～翌年3月31日までの間で、連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数です。

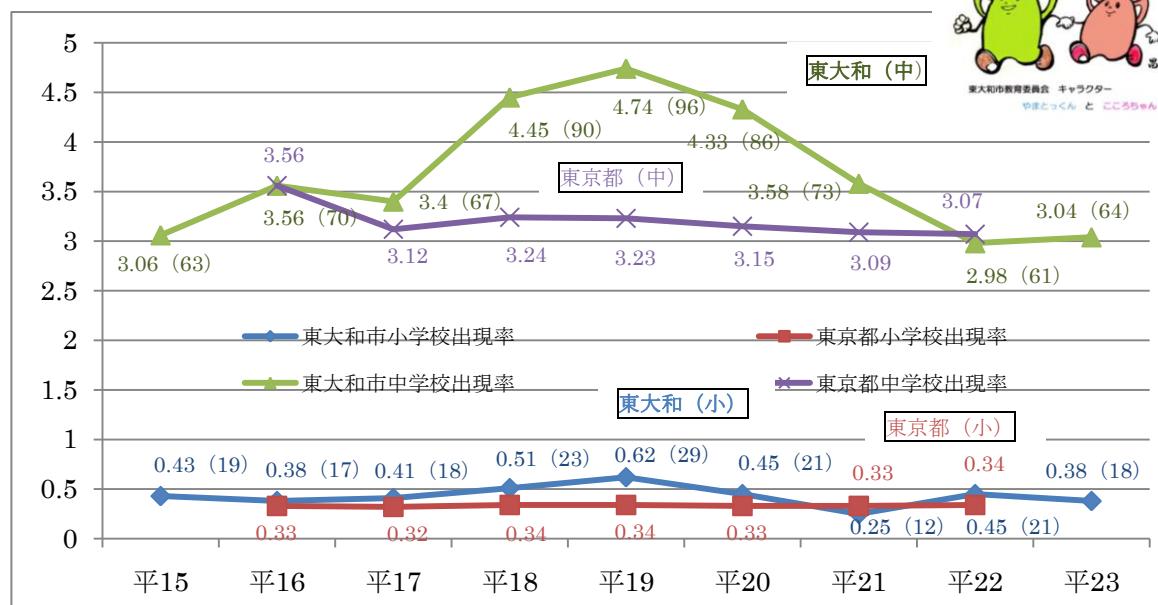
### 2 教育問題解決総力戦

下のグラフは東大和市の不登校児童生徒出現率と東京都の不登校児童生徒出現率とを比較したグラフです。出現率だけではなかなか分かりにくいので、( )の中に人数を記入してみました。

平成17年頃から増加傾向にあった不登校児童生徒数への対応ですが、当時の布宮統括指導主事の肝煎りで不登校対策の権威である宮崎大学大学院教育学研究科教授 小野昌彦先生のご指導を受け、現在も東大和市のすべての学校が「不登校ゼロ」を目指し取り組みを進めています。結果は、下のグラフからお分かりのように、その後、不登校児童生徒の出現率は見事に減少に転じています。

このことは、「朝食を毎日取るようになった」ことと同様に、「家庭の教育力」や「地域の活動・見守り」、「学校と教育委員会の組織的な取り組み」など、関係者の総力を挙げての取り組みの成果であると考えています。

今、教育問題解決は「総力戦」が大切なのです。



東大和市 平成23年度 小学校 1学級平均 0.12人 ・ 平成23年度 中学校 1学級平均 1.02人

